

授業科目名 (英文名)	外書演習 (Advanced seminar)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	當間 克雄	所属	政策科学研究所、経営学部 (グローバルマネジメントコース)
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>本演習の目的は、海外の大学や企業で研修を行うことによって、グローバル人材に必要なマインドを理解するとともに、海外企業 (日系企業、現地企業) に関する基礎的知識を習得し、グローバル人材としてのスキルを高めることである。</p> <p>本演習の第1目的は、「英会話力」や「英語プレゼン能力」を習得することにある。フィリピン・セブにある大学 (16年度、17年度、18年度はサンカルロス大学) において、学生との交流を行い、さらに英語でプレゼンを行う研修を受け、語学力を磨く。そして、「海外の企業で働くとはどういうことか」、「日本企業のマネジメントと海外企業のマネジメントはどこが異なるのか」といった点に関して理解を深めることが第2目的である。</p> <p>この2つの目的を達成するために、前期の早い段階から、英語のプレゼン練習を行いたいと考えている。</p>		
講義内容・授業計画	<p>1 . 講義内容 本演習は、事前学習、海外研修、研修成果報告書 (レポート) の3パートからなっている。前期は経営学、特に経営戦略に関する基礎知識を習得し、海外研修に向けた事前学習を行う。事前学習では、研修訪問予定国の文化・経済・歴史等に関する基本情報の理解、研修訪問先企業の事前学習を行う。また、前期の早い段階から、英語でのプレゼン練習も行い、英語プレゼン能力を習得してもらう。</p> <p>こうした準備を経て、9月 (予定・目下調整中) に一週間程度の海外研修を実施する。研修終了後は受講者それぞれが研修成果報告書を作成し、発表する。</p> <p>2 . 授業計画 前期：4月～8月 経営学、特に経営戦略の学習、海外研修準備全般 英語でのプレゼン能力の習得 9月 海外研修実施 (一週間程度) 10月～1月 グループワークによる研修内容および成果の共有化 研修成果報告書作成</p>		
テキスト	<p>網倉久永、新宅純二郎著『経営戦略入門』日本経済新聞社、2011年。 テキストについては、変更の可能性もあるため、最初のゼミの時に情報提供を行う。また、その他の文献については、演習中に適宜指示する。</p>		
参考文献	<p>必要に応じて演習中に適宜指示する。</p>		
成績評価の基準・方法	<p>1 . 事前学習時の態度と貢献度 30% 2 . 海外研修中の態度と貢献度 40% 3 . 研修成果報告書の内容 30% 以上の3点で評価する。</p> <p>なお、海外研修不参加の者または研修成果報告書未提出者については、やむを得ない場合を除いて、成績評価の対象者とはならないので、注意すること。</p>		
履修上の注意・履修要件	<p>履修上の注意 10月23日 (火) の昼休みに開催される事前説明会には必ず参加すること！ また、日数は少ないが研究室訪問も行うので、それにも必ず参加すること！ この2つに参加していない学生は受講資格を失うことになる。 また、海外研修の詳細については、事前説明会および研究室訪問の際に行う。</p>		
実践的教育			

備考

特になし。